

町長から行政報告をしました

※一部抜粋

浪江町功労者表彰式

文化の日の11月3日、「第43回浪江町功労者表彰式」を二本松市内にて開催しました。

表彰者は、特別功労表彰は6名で、長年にわたり警察職務に精励し、公共の安全と秩序の維持に尽力された方々や、議会議員として浪江町の地方自治発展に寄与された方々です。また、5名の方々が功労表彰、14名の方々が善行表彰として、賞状および記念品を贈呈し、ご功績を讃えました。

浪江町長選挙の執行



11月5日告示、11月15日投票所で行われた当該選挙は、投票事務について適正な選挙事務執行に努めました。

今回の選挙は、期日前投票所を二本松、福島、本宮、郡山、いわき、南相馬の6市に合わせて7か所設置し、当

日投票所は期日前投票所に桑折町を加え、合計8か所に設置しました。また、選挙のお知らせを全有権者に配布し、投票所の場所や受付時間の周知をはかるとともに、11月14日、15日は、仮設住宅と投票所を結ぶ巡回バスの運行や浪江町商工会のご協力により、十日市会場に選挙啓発の看板を設置するなどして、選挙人の投票機会の確保と投票率の向上に努めました。加えて、選挙公報を全有権者に配布し、候補者の声の有権者一人ひとりに届くよう努めてまいりました。

浪江町長選挙の結果は以下の通りでした。

当日有権者	15,761名
投票者数	8,834名
投票率	56.05%

町内の除染・インフラ復旧

仮置場の確保

今年度、施工開始される「浪江町除染等工事（その4）」の対象となる「田尻行政区」の仮置場の契約が完了し、

第3回目の検討委員会では、浪江町内での現地視察を行うと共に、施設の運営体制について検討を行なったところ

また、整備予定地の地権者に対する事業説明会を9月26日に実施しました。事業説明会は国道114号線拡幅第2工区事業と合同で実施し、参加者の皆さまからは早期に事業を推進してほしいとのご意見をいただきました。早期整備に向け、国道114号線第2工区の事業主体である県および国道6号線の道路管理者である国など関係機関との協議を鋭意進めてまいります。

復興祈念公園



福島県における復興祈念公園は、現在、基本構想を策定するため、県が有識者会議を開催しており、私も委員として参加しています。先月には、委員による現地視察と地元町民からの意見をいただいたところです。

また、町としても地元の方々の懇談会を通じ、ご意見をいただいたところであり、こうした声を反映できる

仮置場が確保されました。今後は仮置場の造成に入りますが、行政区の皆さまへ除染の説明が終了次第、除染作業に入ります。

先に確保された行政区では、既に仮置場の造成に入っており、主に住宅や大型施設等を中心に除染作業を行っています。

今後とも住民の皆さまへ丁寧な説明を行い、仮置場の確保および除染作業へのご理解ご協力をお願いしたいと考えています。

津波被災地の復興



津波被災者の生活再建のため、防災集団移転促進事業により、移転促進区域内の宅地等の買い取りを進めていますが、現在までに契約手続き中を含めて約470件、面積にして約78%の契約となっております。また、議会の議決が必要となる5千平方メートル以上の契約については、43件の契約となっております。

移転先住宅団地の整備については、幾世橋地区に23戸、請戸地区に42戸を整備する計画であり、現在、両地区とも敷地造成のための実施設計等を行っ

よう有識者会議などの場を通じて積極的に発信してまいります。

福島県12市町村の将来像の提言



7月に取りまとめが行われ、提言書として復興大臣に提出されたところです。

現在、その推進のためのフォローアップ会議が開催されており、各種事業の実現、広域的な課題の解決に向けた議論を進めています。

町としても、ふるさとの再生に向けて、財源の確保も含めた着実な推進を訴えながら、引き続き積極的に関与してまいりたいと考えています。

仮設防火水槽の追加配備

放射性物質による汚染のため、既設の防火水槽が使用できない状況にあるため、昨年度の6か所につき、今年度も10か所に仮設防火水槽を追加設置しました。1か所あたり40トンの水を貯水しており、初期消火に対応できる水量となっております。

ているところです。町営大平山霊園は、移転希望者による移転が進んでおり、現在約200基の墓石が建立されています。また、11月末には、墓地内に公衆トイレが完成したところです。

復興まちづくり

町内の公営住宅整備

6月より地権者に対し個別訪問等を実施し、用地交渉を行っていますが、現在までに整備予定地の約8割において、契約済みまたは契約見込みとなっているところです。

「交流・情報発信拠点施設」の整備



現在、事業の基本計画の策定に向け、検討委員会での検討が進められているところです。11月6日に行われた

3D(スリーディー)測量・津波被災地施設等のレーザー測量

復興計画の柱の一つである「被災経験を次代や日本に生かす脱原発、災害対策」に基づき、被災状況を記録し、後世や世界に伝えるため、津波被災地を中心に3D測量・レーザー測量を実施しています。

復旧作業が進む中、今、被害を受けた請戸小学校や町の様子を3Dデータとして残しておくことで、いずれ多くの人にこの経験を伝えるための貴重な記録になると考えています。今後、県においても記録収集のための広域的な取り組みが行われることとなっており、関係機関との連携も含め、有効に活用してまいります。

イノベーションコースト構想

イノベーションコースト構想については、その実現に向けたフォーアツプ会議が開催されており、10月29日の会議には私も出席し、地産地消型のまちづくり、再生可能エネルギー・新エネルギーの活用によるスマートシティ、農林水産業の再生、防災対策・防災研修拠点、教訓を伝承・発信する

会津地方	70戸	166人
中通り地方	1,425戸	2,937人
浜通り地方	1,010戸	1,802人
合計	2,505戸	4,905人

また、11月4日より、住宅再建や復興公営住宅に入居された町民の方を対象として、桑折駅前仮設住宅のエアコン、カーテン、照明器具等の無償引渡しの申込み受付を行いました。60件の申込みがあり、年内中に引渡しを行う予定です。

避難指示区域への立ち入り

11月末日現在、浪江町通行証11,188件、浪江町臨時通行証4,006件、公益立入り通行証3,221件を発行しています。

アーカイブ拠点など、今後、浪江町が目指す姿について訴えてきたところを。こうした、浪江町が目指すまちづくりを、イノベーションコースト構想の中で実現できるよう積極的に働きかけてまいります。

住まい・暮らこ

浪江町住民意向調査



復興庁、福島県、浪江町共催で実施した住民意向調査について、先月、調査結果の速報が発表されました。

昨年同様、約6割の町民の皆さまからご回答をいただき、帰還の意向では「すぐに・いざ戻りたい」という割合が17・8%と震災以降初めて増加に転じ、そのうち「すぐに戻りたい」人の割合は、33・7%と15ポイント近くも増加しました。今後、詳しい分析を進め、町の施策に有効に活用してまいります。

産業の振興

浪江町内での事業活動状況

12月1日現在の浪江町内での事業者の活動状況は、18事業者22事業所となっております。事業者向け浄化槽導入等支援事業の活用など、再開に向けた準備を進めている事業者もあり、今後とも町として積極的に支援してまいります。

雇用の場の創出・企業誘致



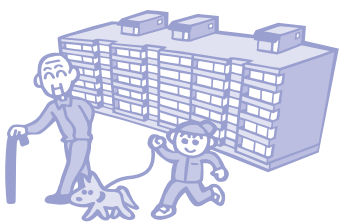
現在、雇用の場の整備のため、大平山の南産業団地と北幾世橋地区の北産業団地の整備基本計画の策定を進めています。さらには、町が集積を目指すエネルギー関連や復旧・復興資材生産などの関連企業約3,000社に対し、進出意向のアンケートを実施する予定であり、意向が確認された企業については積極的に訪問し誘致活動を進めて

避難指示解除に関する有識者検証委員会

平成29年3月の帰還開始目標に向け、除染やインフラ復旧、生活環境整備などの進捗状況を客観的に検証・評価し、必要な措置について提言をいただくため、9月より避難指示解除に関する有識者検証委員会を開催しています。委員会では、それぞれの専門分野の有識者が、国・県などの関係機関からの報告、町民の皆さんからのご意見を元に、検証作業が進められています。

今後、3月を目途に提言を取りまとめたいただき、それを踏まえて町としても必要な措置をとるとともに、帰還についての一定の方向性を示ししたいと考えています。

復興公営住宅



町外の復興公営住宅整備は、徐々に

まいります。

また、11月4日には「浪江日立化成」「浪江日本ブレイキ」を訪問し、町の現況報告や会社の現状など意見交換をしました。引き続き、既存誘致企業と定期的な連絡をとってまいりたいと考えています。

観光・産品振興



10月3日に福島市で開催された「陸上自衛隊福島駐屯地創立62周年記念行事」、10月10日に楡葉町で開催された「ふたばワールド2015」、10月17日に東京都で開催された「まるごと福島フェア」、11月3日に岡山県赤磐市で開催された「あかいわ祭り」、11月21・22日に千葉県成田市で開催された「成田市産業まつり」の各イベントに、「大堀相馬焼」や「なみえ焼そば」などの町内出展者とともに参加し、被災地域の現状を伝えるとともに、浪江のふるさと産品の販売およびPRを実施しました。

このような、ふるさとを感じることでできる機会を創出する産品の振興について、今後とも引き続き力を入れてまいります。

供用開始しており、9月28日には福島市の復興公営住宅飯坂団地の竣工式が実施され、浪江町民対象の復興公営住宅として福島市で初めてとなる飯坂団地の入居が開始されました。今後整備される住宅に関しては、11月4日より復興公営住宅の第4期募集が開始されています。

町としては、10月15日のお知らせ版に浪江町民向けの募集案内チラシを配布し周知するとともに、町民の皆さまに入居に関する情報を正確に理解していただくよう、県と協力して努めてまいります。

また、町民からの要望も多かったペットの飼育が可能な住宅を増やすことについて、県に対して要望をしてきたところですが、今回の4期募集において、二本松市の表地区の復興公営住宅が新たにペット飼育可の集合住宅として案内が開始されているところで

応急仮設住宅の入居状況

11月末日現在、建設戸数2,763戸に対して入居戸数1,755戸、入居人数は3,187人、入居率は63・5%となっております。

県内の特例借上げ住宅の状況については次の通りです。

復興組合

除染後の農地を地域で保全していくための復興組合は、前回から新たに、荏宿地区、幾世橋地区、加倉地区で組合が設立され、11月末までに累計で14行政区9組合が設立されたところであります。さらには、本年度中の組合設立のために樋渡・牛渡地区、川添地区においても準備が進められているところであります。今後も農地の除染が実施される地区において復興組合の設立を支援してまいります。

浪江産の米販売



本年度、酒田地区において販売を目的として栽培されていた米については、去る10月13日に稲刈りを行いました。その後実施した玄米の全量全袋検査の結果において、基準値以内との結果でした。測定下限値未満の198袋を「東京大学消費生活協同組合」および「麵の旭屋」などの協力のもと、11月下旬より震災後初めて販売しています。これにより、今後の営農再開に向け弾みが出てくるものと期待しています。

浪江町花卉研究会



7月13日に設立された「浪江町花卉研究会」は、これまでに5回の検討会と早稲田大学や仙台白百合大学の学生の参加を得て、就農体験や若者との意見交換会を実施してきました。今後も花卉産地としての「花のまち」の実現を目指し、視察結果や若者の意見を参考に、研究会において検討を重ね、農業経営計画の策定を進めてまいります。

ストレス、睡眠障害等により、生活習慣病が増加しています。引き続き、適度な運動、規則正しい食生活などの健康指導や啓発活動により、町民の健康維持および増進に努めてまいります。

総合健診

9月18日より南相馬市の万葉ふれあいセンターを皮切りに、県内9地区において、11月21までの20日間にわたり総合健診を実施し、3,561人の方が受診されました。

内部被ばく検査

11月末現在で延べ28,484名の方が受診しており、検査された方全員が、預託実効線量1ミリシーベルト未満となっております。

医療・健康管理

町民の健康管理



震災後、避難生活の長期化に伴い、運動量の減少、食習慣の変化、精神的

より情報を発信してまいります。

仮設津島診療所 建設事業



二本松市内の石倉地区復興公営住宅建設に併せ、整備を予定しており、10月1日に基本実施設計委託業務を発注したところです。今後、町外コミュニティに必要な生活サービス施設として、整備を進めてまいります。

浪江診療所(仮称) 建設事業

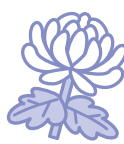
浪江町内の役場本庁舎敷地内に建設を予定しており、10月28日に基本実施設計委託業務を発注したところです。今後、避難指示解除後に必要な生活サービス施設として、整備を進めてまいります。

浪江町敬老祝金・ 100歳賀寿表彰



80歳から84歳の方921名、85歳から89歳の方692名、90歳以上の方363名、合計1,976名の方に対して、敬老祝い金を支給しました。
また、満100歳を迎えられた2名の方に対しても、賞状とお祝いを支給しています。厳しい避難生活が続きますが、皆さまのますますのご健勝をお祈り申し上げます。

災害関連死



現在、双葉地方災害弔慰金審査委員会において、関連死の可否について審査をお願いしているところであり、11月27日現在、申出受理件数が460件、うち審査済件数が432件、うち認定件数が377件となっております。

つながりの維持

浪江町消防団の活動



10月4日に、浪江中学校校庭において浪江町消防団秋季検閲式が開催されました。

検閲式には98名の消防団員が集合し、功績章9名、精勤章23名の表彰や分列行進・閲団などを行い、改めて消防団の士気の高さを実感することができました。

また、毎週日曜日には各分団による町内パトロールを継続して行っており、浪江町防犯見守り隊の活動と併せて、町民の皆さまがより一層、安心して暮らすよう努めてまいります。

タブレットを 再生強化



11月末現在、6,582台のタブレットを町民の皆さまに配布し、約8割の利用率を維持しています。年内中は追加の申込みを受け付けており、引き続き希望される皆さまに配布してまいります。

この事業は、タブレットを配布することが目的ではありません。多くの皆さまにタブレットを活用していただき、絆の再生という本来の目的を達成するため、県内外でこれまで約80回の講習会を実施し、延べ約2,200人に参加をいただいています。

今後とも、避難生活を送る町民の皆さまの生活に役立つよう、内容を見直しながら実のある講習会を開催してまいります。

町民交流事業

県内においては、9月25日に日赤福島支部の支援を受け、石川町の母畑温泉「八幡屋」で交流会を開催し、120名の方が参加されました。
県外においては、10月20日に成田市

教育行政

学校教育



避難先で5回目の開催となる浪江中学校文化祭「秋桜祭」が、10月24日に浪江中学校体育館で開催されました。

生徒の手によるビッグアートが掲げられた体育館では、総合学習や英語弁論、人権発表などのステージ発表や全校生徒による空手道演技、よさこい演奏、さらには日本赤十字社の支援によるコンサートなどが行われました。生徒数が年ごとに減少する中で、生徒達と教職員とが知恵を出して工夫を凝らした内容は豊かで、浪江中学校での学

びが充実したものであることを物語る文化祭となりました。

生涯学習



第9回市町村対抗軟式野球大会が福島市で開催され、浪江町チームは9月13日の第4試合でいわき市と対戦しましたが、残念ながら0対1で惜敗しました。

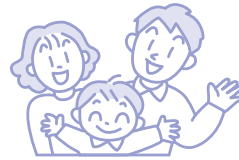
また、第2回市町村対抗ソフトボール大会が相馬市で開催され、浪江町チームは10月17日の第3試合で二本松市と対戦しましたが、残念ながら0対5での敗退となりました。

どちらの試合にも応援席には町民が多数駆け付けて、ふるさとへの熱い思いを胸に声援を送り、試合後は全力を出し尽くした選手たちの健闘を讃えていました。

また、第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月15日に行われました。避難により選手選考が苦しい状況ではありましたが、年3回の合宿を実施するなどし、大会に臨んだ結果、総合26位、町の部9位入賞という成績となりました。なお、第14区においては県立福島西高等学校3年の山本幸輝君が町の部で区間賞をとりました。

その他にも、10月10日には町長杯パークゴルフ大会、15日には町長杯ゲートボール大会、21日には町長杯ランドゴルフ大会、31日には町長杯家庭婦人バレーボール大会を開催し、スポーツを愛好する町民が避難先から多数参加し、久しぶりの再会に親交を深めあっていました。

子育て



「なかよく・みんな・えがおで」をテーマに、子どもたちの写真を募集して優れた作品を表彰する「第5回こどもの笑顔フォトコンテスト」授賞作品の表彰式を10月16日に行いました。

このコンテストは、東日本大震災以後中断していましたが、5年ぶりに再開したところ全108点の応募があり、審査会において優秀作品16点を選定し、その結果を町ホームページなどで広く紹介しました。表彰式には多数の子どもとその保護者が集まり、子どもたちの笑顔と家族の優しい表情が溢れる中で、一人ひとりに賞状と記念品を贈呈しました。

文化財・郷土芸能



今年度第1回目の浪江町文化財調査委員会を11月11日に開催しました。東日本大震災後しばらく中断していたものが昨年度末に再開し、以来、浪江町内での文化財被災状況調査などを実施しています。委員会では、浪江町帰還後の環境整備として民俗芸能の練習場所や文化財等の保管場所の確保の必要性などが確認されました。

賠償

賠償支援

町は、高齢者の賠償支援の取組みとして、586件の75歳以上の单身等世帯の賠償請求支援事業を進めています。9月には支援についての意向調査を行い、現在までに約69%の町民からご返送をいただき、そのうち252件で支援を希望するとの回答をいただきました。

今後は訪問による支援を進めています。

汚染牧草搬入

き、未返送者の方へは電話等により改めて意向把握に努めています。また、浪江町ADR集団申立てについては、これまでの取組み経過などを改めて町民の皆さまにご説明するため説明会を、県内5か所、県外2か所で開催を予定しています。

町としては、東京電力やADRセンターの対応を注視し、その動きを見極めつつ、説明会での町民の方々からのご意見を基に今後の行動について検討してまいります。

宮城県白石市からの汚染牧草の搬入については、国・県の指導方針に反し、当町に事前の連絡もせず行政機関が自ら搬入したことについて、11月20日に白石市に対して抗議文を提出しました。

今回のような例を黙認すれば、他の自治体からも同様に汚染廃棄物が搬入され、廃棄物の集積場所となり、町民の帰還意識の低下につながるため、厳重に抗議をしたものです。

ここからは広告です。



浪江町で営業始めてます。

営業時間

8:00~17:30

平日、土曜、祭日営業。

日曜日、年末年始 お休み

浪江復興に
燃料貢献中

社員、アルバイト募集中です!!

まずは、お電話ください

株式会社 渡辺商店 (梅田商店)

双葉郡浪江町権現堂字新町20-13

☎ 0240-35-3116 / fax 0240-35-3117